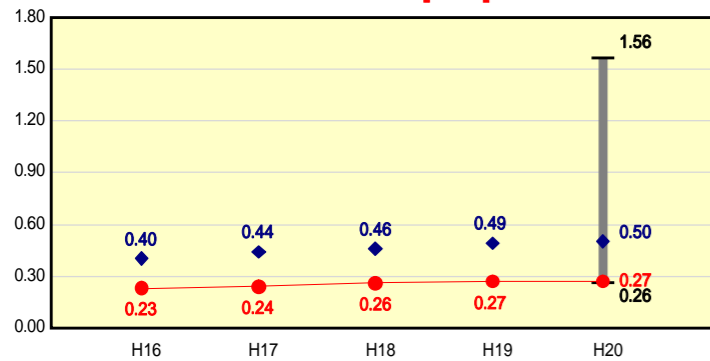


市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

財政力

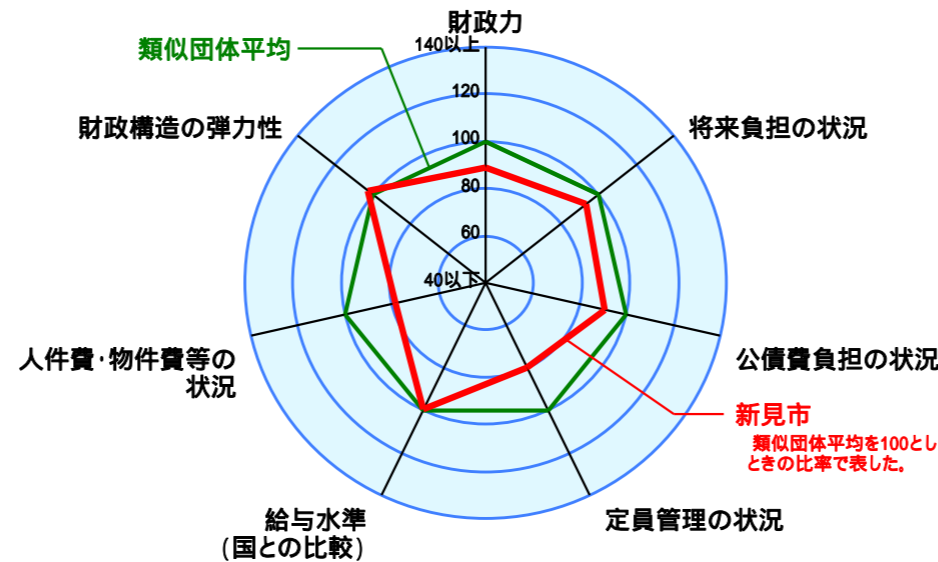
財政力指数 [0.27]



● 当該団体値
◆ 類似団体平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 85/89
全国市町村平均 0.56
岡山県市町村平均 0.47

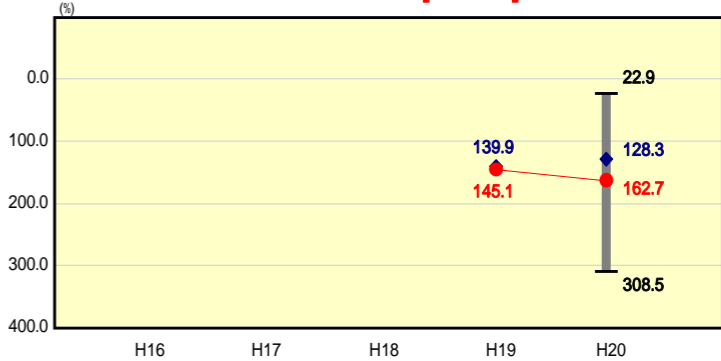
人口	34,946	人(H21.3.31現在)
面積	793.27	km ²
標準財政規模	16,595,879	千円
歳入総額	24,289,923	千円
歳出総額	23,555,732	千円
実質収支	519,377	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく(実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない)団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

将来負担の状況

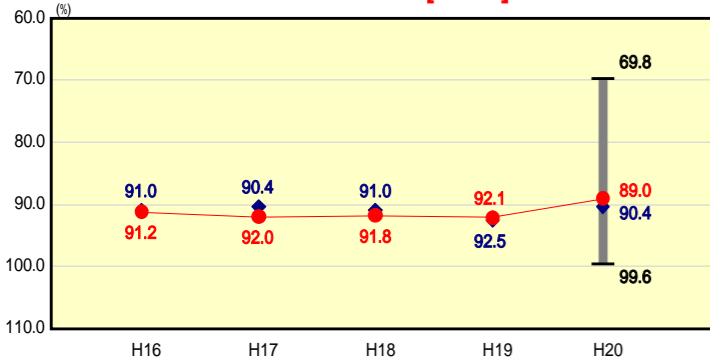
将来負担比率 [162.7%]



類似団体内順位 63/89
全国市町村平均 100.9
岡山県市町村平均 133.1

財政構造の弾力性

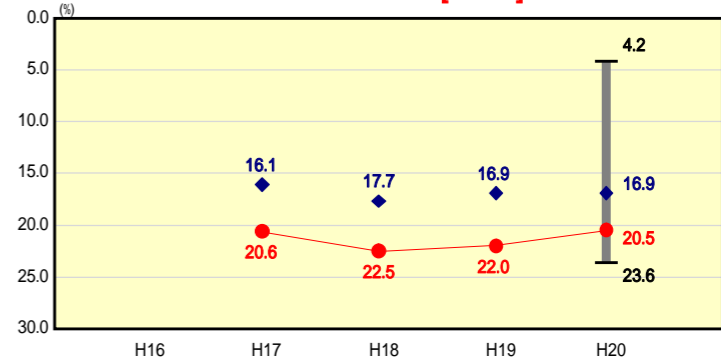
経常収支比率 [89.0%]



類似団体内順位 26/89
全国市町村平均 91.8
岡山県市町村平均 92.2

公債費負担の状況

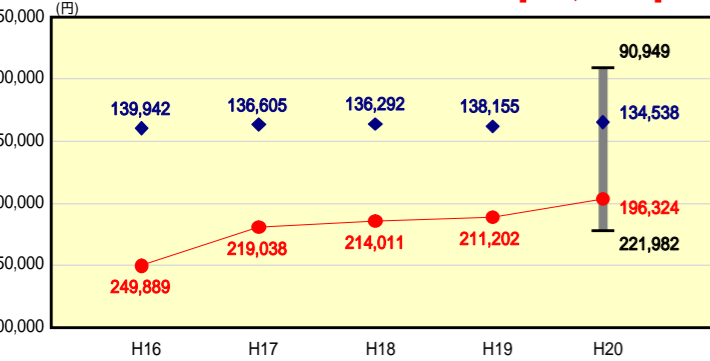
実質公債費比率 [20.5%]



類似団体内順位 74/89
全国市町村平均 11.8
岡山県市町村平均 16.4

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [196,324円]

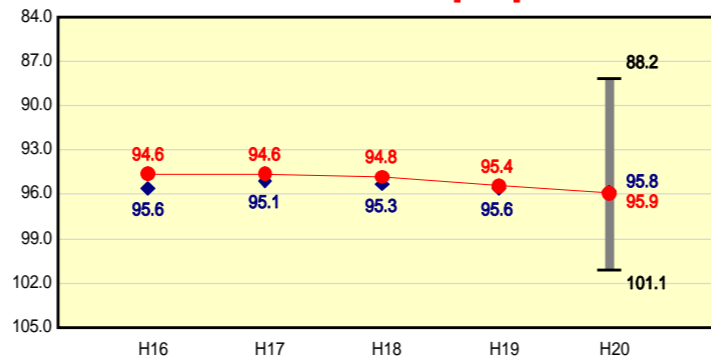


類似団体内順位 85/89
全国市町村平均 114,142
岡山県市町村平均 115,018

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

給与水準 (国との比較)

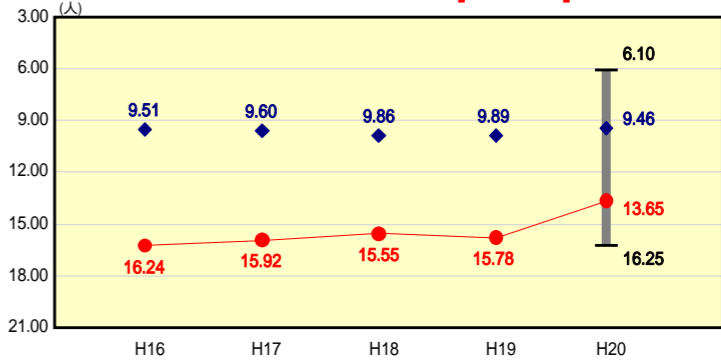
ラスパイレス指数 [95.9]



類似団体内順位 42/89
全国市平均 98.4
全国町村平均 94.6

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [13.65人]



類似団体内順位 84/89
全国市町村平均 7.46
岡山県市町村平均 8.02

分析欄

財政力指数

中山間地域に位置しているため企業が少なくに加え、長引く景気低迷による個人・法人関係の減収などから0.27と類似団体平均を大きく下回っている。今後も、滞納額の圧縮など更なる徴収業務の強化や組織の見直し等行政運営の効率化に努める。

経常収支比率

合併以後初めての80%台となり、類似団体平均をやや下回っている。今後も、事務事業の見直しを更に進めるとともに、定員管理の適正化による人件費の削減や、高利率の地方債の積極的な繰上償還などに取り組み、現在の水準を維持する。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額

類似団体平均を大きく上回っているものの、徐々に減少している状況にある。人件費については、公立短期大学の独立行政法人化により削減された。今後も、直営で行っている施設運営のうち民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コストの低減を図る。

ラスパイレス指数

類似団体平均をやや上回っているが、国家公務員の基準である100%は下回っている。今後も現在の水準を維持するよう努める。

将来負担比率

類似団体平均をやや上回っている。地方債残高は依然として高い状況にあるが、交付税算入率の高い辺地対策事業債、過疎対策事業債等の占める割合が高く実質的な負担は軽減される。また、財政調整基金をはじめとする充当可能基金残高は増加している状況にある。今後も将来への負担を少しでも軽減するよう、新規事業の実施等について総点検を図り、財政の健全化に努める。

実質公債費比率

類似団体平均を大きく上回っている。地方債の新規発行額を当該年度元金償還額の70%以内に抑えるとともに、高利率地方債の繰上償還を実施し、地方債残高の削減に努める。

人口千人当たり職員数

平成20年度に公立短期大学が独立行政法人化したことにより職員数は大幅な減少となったが、市の面積が広大で、支局等を配置していることから類似団体平均を上回っている。今後は、住民サービスを低下させることなく、アウトソーシングの活用や簡素で効率的な組織の見直しを行う。